

みぬま 水沼の君きみ の時代



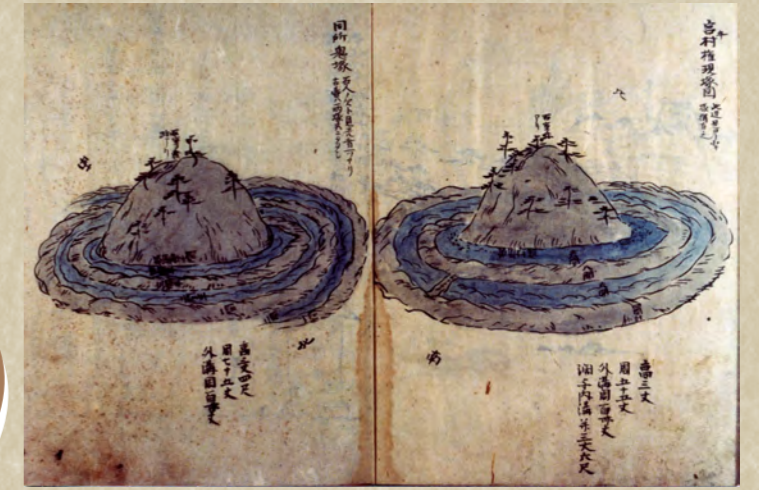
筑後川を舞台に
活躍した
筑後地方の大豪族

ちくごしょうしぐんだん 『筑後将士軍談』と やのかずさだ 矢野一貞

めいぜんどうそどくかた
私、矢野一貞は、明善堂素読方や国学
ひきたてかた かいぶつかたか やくおくだお
引立方、開物方加役奥通り等の部署を
歴任した幕末頃の久留米藩士である。



▶ 矢野一貞肖像画



▲『筑後将士軍談草稿』に描かれた御塚・権現塚古墳

めいしょう きゅうせき
久留米藩領内の名勝・旧跡などを記した『筑後将士軍談』（矢野一貞著）には、御塚古墳は鬼塚と記され、権現塚古墳とともに紹介されています。極めて正確な測量値が記されるとともに、せきじん
石人の欠片が存在したことが、盗掘の痕跡が確認できることなど、貴重な情報が残されています。



▲御塚・権現塚古墳

※掲載した古墳や遺跡は、私有地の場合があります。見学の際はご確認ください。

令和2年3月1日
◎発行 久留米市教育委員会
◎編集協力 NPO法人 久留米ブランド研究会

◎問い合わせ
久留米市 市民文化部 文化財保護課
TEL 0942(30)9322 FAX 0942(30)9714
E-mail bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp

